

【記載例】

別記群地基様式第2号の3

症状等経過報告書

年月日	症状、手当、受診しなかった理由等	受診医療機関等
令和〇年 4/9	解体作業中、肘部に痛みを感じたものの、作業継続。帰宅後も同部位に違和感が残っていたため、市販の湿布薬にて対応。	
4/10～4/12	引き続き、市販の湿布薬で様子を見た。	
4/13～4/27	痛みは殆ど消失したため、湿布薬の使用を中止。業務には通常どおり従事。	
4/28	重量物の運搬作業中、肘部が再び痛み出したため、勤務終了後に整形外科を受診したところ、「左肘内側側副靭帯損傷」と診断された。	XX整形外科
5/9	リハビリ継続中。主治医からは、5月いっぱいまで終了（治ゆ）見込みと聞いている。	

被災（発症）時から初診時及び現在までの経過は上記のとおりです。

令和 〇年 〇月 〇〇日 所属部局 〇〇市清掃施設課（△△清掃工場）

職名 技師長

氏名 群馬 県三郎

- ※ 被災日以降原則として日単位で記入し、長期にわたるときは、適宜週単位等で記入してください。
- ※ 「症状、手当、受診しなかった理由等」欄は、痛み等の状況や自身で行っていた処置、受診しなかった（できなかった）理由や事情等について記入してください。
- ※ 「受診医療機関等」欄は、初診後の状況について記入してください。